

新駅へのアクセス道路と駅前広場を整備。

暮らしいきいき、うるおいのあるまちをつくれます。



平成31年春に開通予定の片楯連絡線は、大塚の都心部に集入れる東西動脈となる都市幹線です。開通後は、沿線開発の促進、沿線住民の交通サービスの向上など、各方面から大きな期待が寄せられています。加島地区に開設される新駅は、片楯連絡線の大塚市域への西の玄関口となるものです。この新駅開設をうけて、大塚市では、沿線地域の活性化を図るため、地域住民の皆務とともに、土地区画整理事業によるまちづくりを進めます。



駅前からひろがる充実の都市空間。

新駅開設までに、加島地区の特線道路である「加島天下茶屋線(十三筋)」から新しい駅へのアクセス道路と駅前広場の整備を行います。駅前広場には路線バス・タクシーの乗降スペース等を設置し、駅利用者の方々はじめ地域住民の皆様へのコミュニティスペースとして利用していただけるような憩いのある空間としても整備します。また駅前広場地下には駅利用者の利便を図るため、約1,200台収容の自転車駐車場を整備します。

機能的な道路整備により人も車も安全に。

新たに整備される道路は、特線道路(都市計画道路)と、区画道路とに分けられ、美しく快適な街並みをつくれます。特線道路は歩道と車道を分離し、歩行者の安全と路線バス等車両の円滑な交通を図ります。区画道路は、地域住民の利便と安全を十分に考慮して整備します。

公園や上・下水道の整備で明るく住みよいまちに。

既存のコミュニティが維持できるように区画道路を配置し、子供の遊び場、地域住民の憩いの場となるような児童公園を整備します。また、将来の市街地化を想定し、道路整備に併せて上・下水道等の各種供給処理施設の整備拡充を行います。

